Genie®
A TEREX BRAND

操作説明書

シリアル番号の範囲

GR™-26J

GRJ13-448 から

ANSI/CSA
North America
South America
Asia

メンテナンス情報付き

Third Edition
First Printing
Part No. 1255264JAGT

重要

本機械を操作する前に、操作説明書の中の安全規則と操作指示をよく読み、理解し、従ってください。トレーニングを受け認定された担当者のみが、機械を操作することを許されます。本説明書は機械の一部とみなされ、必ず機械と一緒に置かれていなければなりません。ご質問等がありましたら、弊社にお問い合わせください。

お問合せ先:

インターネット:www.genielift.com

E メール:awp.techpub@terex.com

目次

はじめに 1
シンボルと危険を表すイラストの定義 5
作業員の安全 7
作業場の安全 8
説明 15
操作パネル 16
点検 20
操作手順 34
輸送および持ち上げの手順 42
メンテナンス 45
仕様 47

Copyright © 2010 Terex Corporation

第 3 版: 初刷、2014 年 1 月

「Genie」は米国およびその他の国における
Terex South Dakota, Inc. の登録商標です。「GR」は
Terex South Dakota, Inc. の商標です。

この機械は以下の規格と準拠しています。
ANSI/SIA 92.5
CAN B.354.4

はじめに

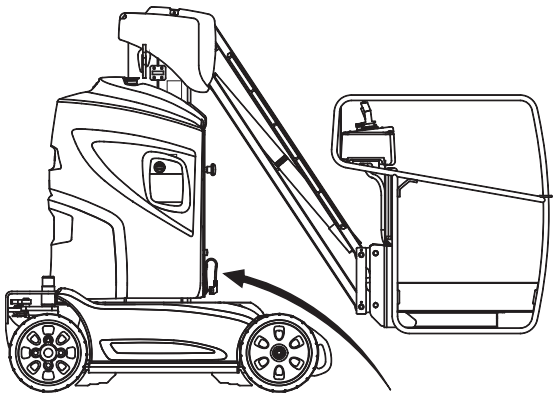
この説明書について

当社の製品をお選びいただき、ありがとうございます。当社はユーザーの安全を最優先に考えており、その達成には皆様のご協力が必要です。本著は、Genie 機械のユーザーもしくはオペレータのための操作および毎日の保守点検説明書となっています。

本説明書は機械の一部とみなされ、必ず機械と一緒に置かれていなければなりません。ご質問等がありましたら、Genie にお問い合わせください。

製品の識別

この機械のシリアル番号はシリアルラベルに記載されています。



シリアルラベル

用途

本製品は、作業員を工具や機材と共に高所作業場まで上げることのみを用途としています。

通知の配布と準拠

製品ユーザーの安全は Genie の最優先事項です。数多くのさまざまな通知は Genie が販売業者および機械の所有者に重要な安全規約と製品情報を知らせるために使用されます。

通知に含まれる情報は、機械モデルとシリアル番号を使用して特定の機械に関連付けられています。

通知の配布は、お客様を担当している販売業者によって記録されている最新の所有者情報に基づいて行われます。そのため、ご利用の機械を登録し、連絡先情報を更新することは重要です。

従業員の安全、使用している機械の継続した安全な操作を保証するために、それぞれの通知に記載されている事項に必ず準拠してください。

はじめに

製造者への連絡

Genie にご連絡いただく必要が出てくる場合があるかもしれません。その場合には、ご利用の機械のモデル番号とシリアル番号、またお客様のお名前とご連絡情報とを合わせて提供いただくためのご準備をお願いいたします。Genie にご連絡いただく事項には最小限であっても以下があります。

事故のご報告

製品の適用性および安全性に関するご質問

標準および法規制の順守情報

機械の所有権の変更、または連絡情報の変更などの現在の所有者情報の更新以下の「所有権の譲渡」を参照してください。

機械所有権の譲渡

所要時間数分で所有者情報を更新していただくと、ご利用の機械に適用する重要な安全、保守および操作に関する情報を取得できます。

www.genielift.com にアクセスしてただくか、またはフリーダイヤル 1-800-536-1800 までご連絡いただき、ご利用の機械をご登録ください。

はじめに



危険

本説明書の操作指示と安全規則に従わなかった場合、死亡または重傷事故の原因となることがあります。

操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

次のセクションに進む前に、安全規則を承知し理解する。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

☑ 製品取扱説明書と安全規則 ― 安全マニュアルおよび操作説明書と機械ステッカーをよく読み、理解し、それに従う。

☑ 従業員の安全規則と作業場所の規則をよく読み、理解し、それに従う。

☑ 該当するすべての法規をよく読み、理解し、それに従う。

☑ 使用者は安全に機械操作を行うための適切なトレーニングを受ける。

はじめに

危険の分類

製品ステッカーは、識別しやすいよう、下記のようなシンボル、色別コード、および注意喚起語を使用しています。



安全警報マーク ― ケガの危険があることを知らせます。ケガや死亡の危険を避けるために、このシンボルの安全警告に従ってください。

⚠ 危険 回避しないと、重傷または死に至る危険があることを示します。

⚠ 警告 回避しないと、重傷または死に至る可能性のある危険があることを示します。

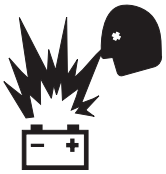
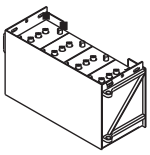
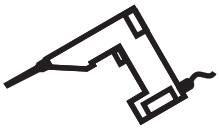
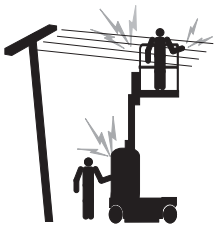
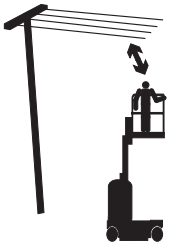
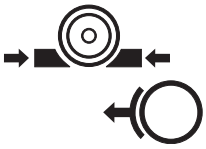
⚠ 要注意 回避しないと、軽度または中程度のケガを負う可能性のある危険があることを示します。

注意 物品の損傷に関するメッセージです。

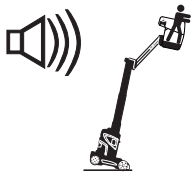
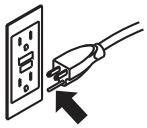
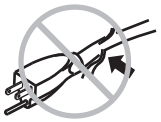
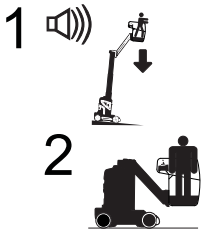
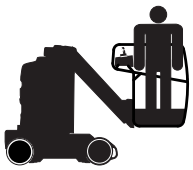
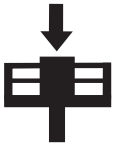
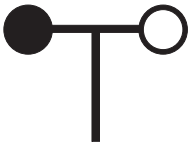
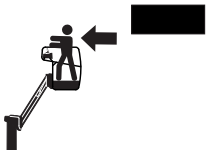
安全ステッカーの保守

安全ステッカーがない場合または破損している場合は、新しいステッカーを貼付します。常にオペレータの安全に配慮してください。安全ステッカーの汚れを取るには、刺激の少ないせっけんと水を使用します。安全ステッカーの素材を傷つける場合があるため、溶剤を使用したクリーナーを使用しないでください。

シンボルと危険を表すイラストの定義

 挟まる危険	 感電の危険	 火災の危険	 爆発の危険	 やけどの危険
 落下の危険	 カウンターウェイトとして使用するバッテリー	 炎を近づけない	 転倒の危険	 禁煙。
 作業台への電力の定格電圧	 感電の危険	 必要な間隔を維持してください	 可動部に近づかないでください	 操作説明書を読んでください
 禁煙。 火気厳禁。 エンジン停止。	 この面に乗らないでください。	 適切なトレーニングを受けたメンテナンス担当者以外は、これらのコンパートメントへの作業を行わないでください	 衝突の危険	 ブレーキ解除前に輪止めをかます

シンボルと危険を表すイラストの定義

 挟まる危険	 機械使用中は上昇する部品に近づかない	 衝突の危険	 上昇した作業台の下に立たない	 転倒の危険
 接地されている AC 3 ピン コンセントのみ	 損傷した電線およびコードを交換してください	 安全帯固定場所	 車輪荷重	 傾斜アラームが鳴る場合、作業台を下降する
 最大作業員数:1	 作業台最大積載荷重量	 最大側方圧力	 最大風速	 勾配角度を測定する.
 衝突の危険	 頭上の障害物に近づかない.	 暴走の危険		

作業員の安全

作業員の落下防止

この機械を操作する際、落下防止装置 (PFPE) の着用が必要です。

作業員は、法規に従って安全ベルトまたはハーネスを着用する必要があります。安全帯を作業台のアンカーに取り付けてください。

安全装備の使用に関して、作業員は従業員規則、作業現場の規則、および法規に従う必要があります。

すべての PFPE は、適用した法規に準拠したものでなければならず、PFPE 取扱説明書の指示に従って検査して使用してください。

作業場の安全

⚠ 感電の危険



この機械は絶縁されておらず、電流との接触または電流への近接に対する保護は施されていません。



適合する法規および次の表に従って、電線や電気装置から安全な距離を保ってください。

線間電圧		必要な距離
0 ～ 50KV	10 ft	3.05 m
50 ～ 200KV	15 ft	4.60 m
200 ～ 350KV	20 ft	6.10 m
350 ～ 500KV	25 ft	7.62 m
500 ～ 750KV	35 ft	10.67 m
750 ～ 1000KV	45 ft	13.72 m

作業台の動きや電線の揺れやたるみを考慮にいれ、強風および突風に注意してください。

通電している電線に機械が接触している場合は、機械に近づかないでください。地上もしくは作業台の従業員は、電線の電気が止められるまで、絶対に機械に触れたり操作したりしないでください。

雷や暴風などの悪天候下では、機械を操作しないでください。

溶接するときに、機械をアースとして使用しないでください。

⚠ 転倒の危険

作業員、装備、および機材の重量は、作業台最大積載荷重量を超えてはなりません。

作業台最大積載荷重量	500 lbs / 227 kg

付属品を使用する場合には、付属品に付いているステッカー、指示およびマニュアルをよく読んで理解し、従ってください。

リミットスイッチを改造したり、使用不能にしたりしないでください。



機械がしっかりとした平坦な地面に設置されている場合以外は、作業台を上昇させないでください。

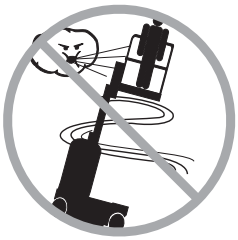


水平位置の指標として傾斜アラームに依存しないでください。傾斜アラームは、機械が急な斜面にある場合にのみ作業台内で鳴ります。

傾斜アラームが鳴った場合は、次の操作を行います。マストを下げ、次にジブブームを下降します。機械を安定した平坦な地面に移動します。マストを下げるときには細心の注意を払います。

作業場の安全

作業台を上昇する場合は、以下に記載の最大許容外圧力および最大作業員人数に従ってください。



強風や突風の状況で機械を操作しないでください。作業台や積荷の表面積を大きくしないでください。風にあたる面積が増えるにつれて機械の安定性が低下します。



平らでない場所、障害物のある場所、不安定な場所、または滑りやすい場所を、収納した状態で走行しているとき、あるいは、くぼみや急に低くなっている場所の近辺で走行しているときは、細心の注意を払うとともに、機械を減速してください。

平らでない不安定な地面、またはその他の危険がある状況では、ブームを上昇したあるいは延長した状態で機械を走行しないでください。



作業台の外にある物体を押したり、引っ張ったりしないでください。

最大側方圧力	150 ft/lbs / 667 N
最大作業員数	2

機械の部品を改造したり、使用不能にしたりしないでください。機械の安全性と安定性に影響します。

機械の安定性に影響する部品を、重量や仕様の異なるものと取り替えないでください。

製造元の書面による事前の許可なしに、高所作業台を変更したり改造したりしないでください。工具や他の機材を収納するためのアタッチメントを作業台、踏み板、もしくは手摺りに取り付けると、作業台の重量および作業台や積荷の表面積を増大させます。

作業場の安全



機械から荷物をぶら下げたり、取り付けたりしないでください。

はしごや足場を作業台に設置しないでください。また、本機械のどの部分にも立てかけないでください。



工具や機材を運ぶ場合は、作業台に均等に配置し、作業員が作業台で安全に使用できるようにしてください。



動いている、または動く可能性のある表面、もしくは車両上で機械を使用しないでください。

タイヤの状態がすべて良好であり、ラグナットが締められていることを確認してください。

近くの構造物に挟まったり、引っ掛かったりして、通常の運行を妨げられている作業台を、作業台操作を使用して解放しようとしないでください。作業員が作業台から降りてから、地上操作を使用して作業台を解放してください。

工場出荷時に機械に搭載されているバッテリーより軽いバッテリーを使用しないでください。バッテリーはカウンターウェイトとして使用されており、機械の安定性に不可欠です。バッテリーを含めたバッテリーボックスの重量は最低 467 lbs/212 kg でなければなりません。

機械をクレーンとして使用しないでください。

機械や他の物体をブームで押さないでください。

ブームを近辺の建造物に接触させないでください。

ブームや作業台を近辺の建造物につながないでください。

作業台の周囲から荷物が突き出ないようにしてください。

⚠ 傾斜面での操作の危険

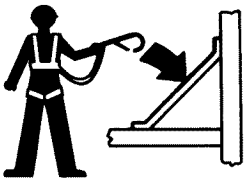
機械の最大上り、下りおよび横勾配の定格値を超える斜面では、機械を走行しないでください。定格勾配は、機械が収納状態の場合にのみ適用されます。

最大勾配の定格値、収納状態	25% (14°)
最大定格横勾配、収納状態	15% (9°)

注記：定格勾配は、地面の状態と車輪と地面との摩擦により異なります。操作手順の「傾斜面における走行」のセクションを参照してください。

作業場の安全

⚠ 落下の危険



作業員は、法規に従って安全ベルトまたはハーネスを着用する必要があります。安全帯を作業台のアンカーに取り付けてください。



作業台の手摺りの上に座ったり、立ったり、登ったりしないでください。作業台の上では常にしっかりとした足場を確保してください。

作業台が上がっている状態で、作業台から降りないでください。

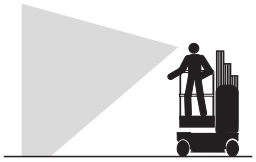


作業台の床面は、常にきれいにしておいてください。

操作前に、作業台出入口中間レールを下げるか、もしくは出入口ゲートを閉めてください。

機械が作業台を収納した状態で、作業台が地上にある場合以外は、作業台に出入りしないでください。

⚠ 衝突の危険



走行中または操作中は、視界の限度および死角に注意してください。

ターンテーブルを回転しているときは、作業台の位置および後方車体の揺れに注意してください。



作業場において、頭上に障害物もしくは他に危険なものがないことを確認してください。



作業台の手摺りにつかまっているときは、手を挟まないよう注意してください。

作業員は、安全装備の使用において、従業員規則、作業場規則、および適合する法規に従わなければなりません。

走行や操舵機能を使用する際は、作業台操作および走行シャーシの色分けされた方向矢印をよく見てください。

作業場の安全



作業台を下げるときは、必ず作業台の下に人がいないこと、また障害物になるものがないことを確かめてから行ってください。



路面の状態、交通量、傾斜、人の位置、およびその他追突の要因となるものに従って、走行速度を制限してください。

頭上で作動中の機械あるいはクレーンの軌道上においては、クレーンの制御がロックされ、さらに衝突を防ぐための予防措置がとられていない限り、機械を操作しないでください。

機械の操作時は、危険な走行や乱暴な運転をしないでください。

ブレーキを解除する場合は、必ず機械を水平な地面に止めてから、もしくは固定してから行ってください。

⚠ 爆発と火災の危険

バッテリーの充電は、火花、炎、または火のついたタバコのない、換気された広い場所で行ってください。

可燃性ガス、爆発性ガス、もしくは微粒子が存在する危険な場所では、機械を操作したり、バッテリーを充電したりしないでください。

⚠ 人体への傷害の危険

作動油や空気が漏れている状態で機械を操作しないでください。空気や作動油が漏れると、皮膚に染み込んだり、やけどを負う原因となります。

カバーの下の部品に不用意に触れると重傷を負うことがあります。適切なトレーニングを受けたメンテナンス担当者以外は、これらのコンパートメントへの作業を行わないでください。オペレータは、作業前の点検を行うときのみにこれらのコンパートメントにアクセスしてください。機械の操作中は、すべてのコンパートメントがしっかりと閉じられていなければなりません。

⚠ 機械故障の危険

損傷もしくは故障している機械は使用しないでください。

作業シフトの前に、機械の操作前の点検を完全に行い、すべての機能をテストしてください。損傷もしくは故障している機械は、直ちに故障の貼り紙を付けて、作業を中止してください。

本説明書と Genie サービスマニュアルに記載されているすべてのメンテナンスを必ず行ってください。

すべてのステッカーが適切な位置にあり、文字が読める状態であることを確認してください。

オペレータの安全と責任に関するマニュアルが完備され、読める状態で、機械の保管場所に保管されているようにしてください。

⚠ 部品の損傷の危険

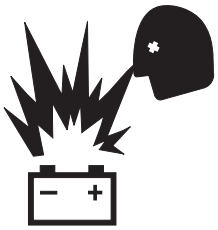
溶接するときに、機械をアースとして使用しないでください。

低バッテリー表示が点灯している場合にバッテリーの充電を怠ると、バッテリーが破損することがあり、バッテリーパック全体の交換が必要になる場合があります。

作業場の安全

⚠ バッテリーの安全管理

やけどの危険



バッテリーには酸が入っています。バッテリーを扱うときには、必ず保護服と保護メガネを着用してください。



バッテリーの酸をこぼしたり酸に触れたりしないようにしてください。バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。

バッテリーパックは常に直立した状態に維持してください。

充電中はバッテリーまたは充電器を水や雨にさらさないでください。

爆発の危険



火花、炎、火のついたタバコなどをバッテリーに近づけないでください。バッテリーは爆発性ガスを放出します。



バッテリーパックのカバーは、充電の全サイクルが終了するまで取り外しておいてください。

バッテリー端子またはケーブル留め金に金属製の工具で触れると火花を発することがあります。工具を使用するときは、接触させないように注意してください。

部品損傷の危険

バッテリーの充電には、48V より高い電圧の充電器を使用しないでください。

溶接するときに、機械をアースとして使用しないでください。

感電/やけどの危険



充電器は、接地されている AC 3 ピン電気コンセントにのみ接続してください。

コード、ケーブルおよび配線の損傷を毎日点検してください。破損している部品は操作する前に取り替えてください。

バッテリー端末への接触による感電に注意してください。指輪、時計などの装身具をすべて外してください。

転倒の危険

工場出荷時に機械に搭載されているバッテリーより軽いバッテリーを使用しないでください。バッテリーはカウンターウェイトとして使用されており、機械の安定性に不可欠です。バッテリーを含めたバッテリーボックスの重量は最低 467 lbs/212 kg でなければなりません。

持ち上げ時の危険

バッテリーの取り外しや取り付けを行う場合は、適切なリフト機材を使用してください。

作業場の安全

使用後のロックアウト

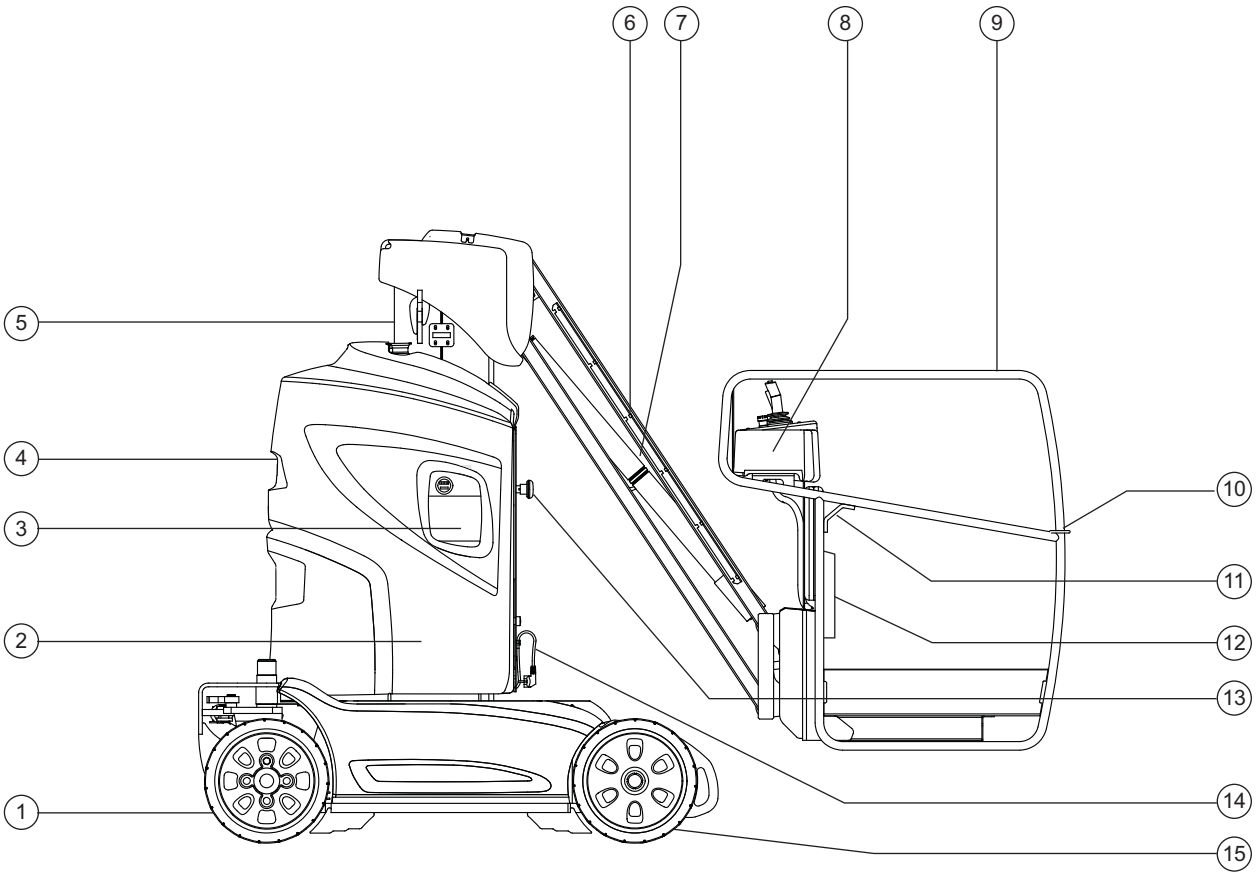
1 固い水平な地面で、障害物や人や車の往来のない、安全な駐車場所を選んでください。

2 ジブブームとマスを収納位置まで下降します。

3 作業台が非操舵輪の間にくるように、ターンテーブルを回転させます。

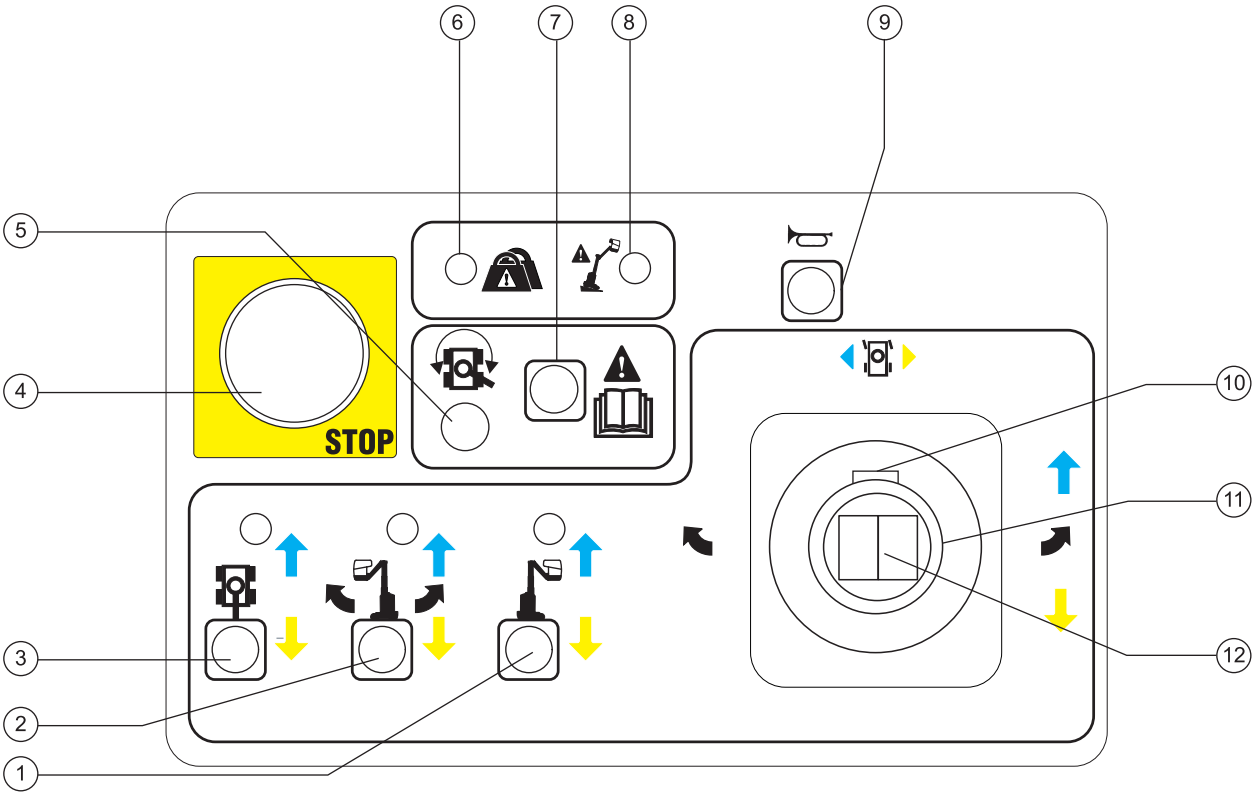
4 キースイッチをオフの位置に回し、関係者以外による使用を避けるためキーを取り外します。

説明



1 操舵輪
2 非常下降制御（反対側のカバー下にも搭載）
3 地上操作パネル
4 バッテリー（カバー下）
5 マスト
6 ジブブーム
7 緊急下降バルブ ジブブーム用
8 作業台操作パネル
9 作業台
10 スライド式中間レール
11 安全帯固定場所
12 マニュアル保管場所
13 赤色非常停止ボタン
14 充電器への電力
15 非操舵側タイヤ

操作パネル



作業台操作パネル

1 表示ランプ付きジブブーム機能ボタン
2 表示ランプ付きマスト機能およびターンテーブル回転機能ボタン
3 表示ランプ付き走行機能ボタン
4 赤色非常停止ボタン
5 走行機能表示ランプ
6 未使用
7 走行作動ボタン
8 非水平表示ランプ
9 ホーンボタン
10 走行およびブーム機能用の機能作動スイッチ
11 走行およびブーム機能用の比例コントロールハンドル
12 ステアリング機能用サムロッカースイッチ

操作パネル

1 表示ランプ付きジブブーム機能ボタン

ジブブーム機能ボタンを押して、ジブブーム機能を選択します。表示ランプが点灯します。

2 表示ランプ付きマスト機能およびターンテーブル回転機能ボタン

マスト機能とターンテーブル回転機能ボタンを押して、マストおよびターンテーブル回転機能を選択します。表示ランプが点灯します。

3 表示ランプ付き走行機能ボタン

走行機能ボタンを押して、走行および操舵機能を選択します。表示ランプが点灯します。

4 赤色非常停止ボタン

赤色非常停止ボタンを押し込んでオフの位置にすると、全機能が停止します。機械を操作するには、赤色非常停止ボタンを回してオンの位置にします。

5 走行機能表示ランプ

ブームが非操舵輪を越えて移動し、走行機能が妨げられると、ランプが点灯します。

6 未使用

7 走行作動ボタン

走行作動ランプが点灯しているときに走行するには、走行作動ボタンと走行ボタンを押して、走行コントロールハンドルを中央からゆっくり動かします。走行および操舵コントロールハンドルの方向とは反対の方向に機械が動く場合があるので、注意してください。

8 非水平表示ランプ

傾斜アラームが鳴ると、傾斜表示ランプが点灯します。

9 ホーンボタン

このボタンを押すと、ホーンが鳴ります。ボタンを離すと、ホーンが止まります。

10 走行およびブーム機能用の機能作動スイッチ

コントロールハンドルの機能作動スイッチを押したままにして、機能を作動します。

11 走行およびブーム機能用の比例コントロールハンドル

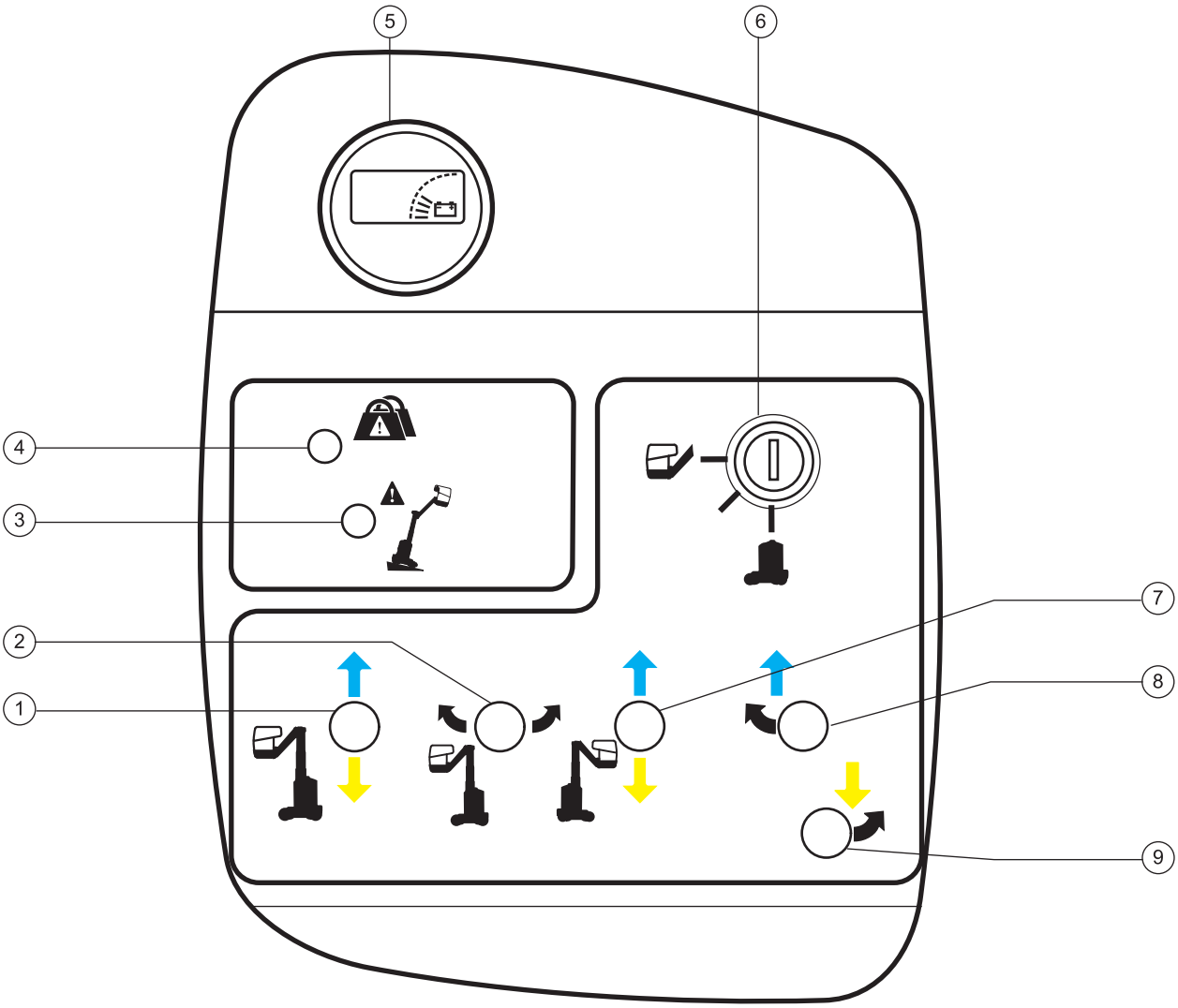
コントロールハンドルを青色矢印の方向に動かすと、機械機能は青色矢印で示された方向に作動します。コントロールハンドルを黄色矢印の方向に動かすと、機械機能は黄色矢印で示された方向に作動します。コントロールハンドルを左に動かすと、ターンテーブルが左に回転します。コントロールハンドルを右に動かすと、ターンテーブルが右に回転します。

12 ステアリング機能用サムロッカースイッチ

ロッカースイッチの左側を押すと、機械が左に曲がります。

ロッカースイッチの右側を押すと、機械が右に曲がります。

操作パネル



地上操作パネル

1 マスト上昇/下降ボタン
2 ターンテーブル左/右回転ボタン
3 非水平表示ランプ
4 未使用
5 バッテリー充電表示器
6 作業台/オフ/地上操作選択用キースイッチ
7 ジブブーム上昇/下降ボタン
8 マスト上昇、ジブブーム上昇およびターンテーブル左回転機能用の機能作動ボタン
9 マスト下降、ジブブーム下降およびターンテーブル右回転機能用の機能作動ボタン

操作パネル

1 マスト上昇/下降ボタン

マスト上昇/下降ボタンを押したままにし、マスト上昇/下降機能を選択します。

2 ターンテーブル左/右回転ボタン

ターンテーブル左/右回転ボタンを押したままにし、ターンテーブル左/右回転機能を選択します。

3 非水平表示ランプ

傾斜アラームが鳴ると、傾斜表示ランプが点灯します。

4 未使用

5 バッテリー充電表示器

バッテリーの充電量を表示します。バッテリー充電表示が 2 本の場合、バッテリーを充電してください。

6 作業台/オフ/地上操作選択用キースイッチ

キースイッチを作業台の位置に回すと、作業台操作パネルが作動します。キースイッチを OFF (オフ) の位置に回すと、機械はオフになります。キースイッチを地上位置まで回すと、地上操作が作動します。

7 ジブブーム上昇/下降ボタン

ジブブーム上昇/下降ボタンを押したままにし、ジブブーム上昇/下降機能を選択します。

8 マスト上昇、ジブブーム上昇およびターンテーブル左回転機能用の機能作動ボタン

この機能作動ボタンを押したままにし、マスト上昇、ジブブーム上昇およびターンテーブル左回転機能を作動します。

9 マスト下降、ジブブーム下降およびターンテーブル右回転機能用の機能作動ボタン

この機能作動ボタンを押したままにし、マスト下降、ジブブーム下降およびターンテーブル右回転機能を作動します。

点検



操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 常に操作前の点検を行う。

次のセクションに進む前に、操作前の点検についてよく理解してください。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

操作前の点検の基本

操作前の点検と規定メンテナンスはオペレータが責任をもって行ってください。

操作前の点検とは、各シフトの前にオペレータが目で見て行う点検です。この点検は、オペレータが機能テストを行う前に、目で点検して異常な箇所を見つけることを目的としています。

さらに操作前の点検によって、規定メンテナンスが必要かどうかを判断します。オペレータは、本説明書で指定されている規定メンテナンス項目のみを行ってください。

次のページのリストを参照し、それぞれの項目をチェックしてください。

損傷もしくは工場出荷時の状態からの無許可での改造を発見した場合は、機械に故障中の貼り紙をつけて使用を停止してください。

機械の修理は、認定を受けたサービス担当者のみがメーカーの製品仕様に基づいて行ってください。修理が終了したら、オペレータは機能テストに移る前に再度操作前の点検を行ってください。

定期保守点検は、認定を受けたサービス担当者がメーカーの製品仕様と責務マニュアルに記載されている要項に基づいて行ってください。

点検

操作前の点検

- ❑ オペレータの安全と責任に関するマニュアルが完備され、文字が読める状態で、作業台の保管場所に保管されていることを確認してください。
- ❑ すべてのステッカーが、文字が読める状態で所定の位置にあるか確認します。「点検」のセクションを参照してください。
- ❑ 作動油の漏れがなく、量が適当であることをチェックしてください。必要に応じてオイルを補充してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。
- ❑ バッテリー液の漏れがないか、量が適当かどうかをチェックします。必要に応じて蒸留水を補充してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。

以下の部品もしくは部分が損傷していたり、変更されていないか、きちんと設置されていなかったり、なくなっている部品がないかチェックしてください。

- ❑ 電気部品、配線、電気ケーブル
- ❑ 油圧ホース、フィッティング、シリンダー、マニフォールド
- ❑ 油圧タンク
- ❑ 走行とターンテーブル用のモーター、および走行ハブ
- ❑ マスト磨耗板
- ❑ タイヤとホイール
- ❑ リミットスイッチと警報
- ❑ アラームとビーコン（装備されている場合）
- ❑ ナット、ボルト、他の締め具
- ❑ 作業台出入口中間レール

機械全体にわたって下記をチェックします。

- ❑ 溶接や機械部品の割れ
- ❑ 機械のへこみと故障
- ❑ 過度のさび、腐敗または酸化

- ❑ 機械を構成している全ての部品が欠けておらず、適合するファスナーやピンが正しい位置にしっかりと締められた状態にあることを確認します。
- ❑ バッテリーが正しい位置に設置され、適切に接続されていることを確認します。
- ❑ 点検が終了後、コンパートメントのすべてのカバーがすべてしっかりと閉められ、ラッチで留められていることを確認します。

点検



操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に常に機能テストを行う。

次のセクションに進む前に、機能テストについてよく理解してください。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

機能テストの基本

機能テストは、機械を使用する前に故障を見つけることを目的としています。オペレータは、指示された手順に従ってすべての機能をテストしてください。

故障している機械は決して使用しないでください。故障が見つかった場合は、故障の貼り紙を付けて作業を中止してください。機械の修理は、認定を受けたサービス担当者のみがメーカーの製品仕様に基づいて行ってください。

修理が終了後、オペレータは機械を使用する前に、操作前の点検と機能テストを再度実行してください。

点検

地上操作の場合

1 テストを行う場所として、障害物がなく、安定した平坦な場所を選びます。

2 キースイッチを回して地上操作に切り替えます。

3 赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

非常停止のテスト

4 赤色非常停止ボタンを押してオフの位置にします。

5 機械の各機能を作動します。

⊙ 結果：機能は何も作動しません。

6 赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

機械機能と下降アラームのテスト

7 どの機能作動ボタンも押したままにしないでください。各機能ボタンが作動するか試します。

⊙ 結果：機能は何も作動しません。

8 マスト上昇、ジブブーム上昇およびターンテーブル左回転の機能作動ボタンを押したままにします。マスト上昇機能、ジブブーム上昇機能およびターンテーブル左回転機能のボタンを押したままにします。

⊙ 結果：機能はフルサイクルで作動します。マストが下降しているときには下降アラームが鳴ります。

9 マスト下降、ジブブーム下降およびターンテーブル右回転の機能作動ボタンを押したままにします。マスト下降機能、ジブブーム下降機能およびターンテーブル右回転機能のボタンを押したままにします。

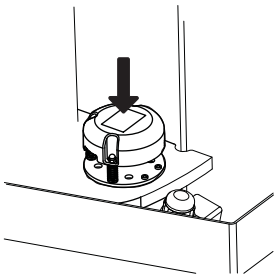
⊙ 結果：機能はフルサイクルで作動します。ブームが下降しているときには下降アラームが鳴ります。

傾斜センサーのテスト

10 キースイッチを回して作業台操作に切り替えます。作業台の赤色非常停止ボタンを引いてオン の位置にします。

11 作業台を 10 cm 上昇させます。

12 地上操作側のターンテーブルカバーを開いて、傾斜センサーを見つけます。



13 傾斜センサーの上部を下に押します。

⊙ 結果：アラームが鳴ります。

14 作業台を下げます。

点検

作業台操作

15 キースイッチを回して作業台操作に切り替えます。

16 赤色非常停止ボタンを引いて回してオンの位置にします。

非常停止のテスト

17 作業台の赤色非常停止ボタンを押してオフにします。

18 機械の各機能を作動します。

⊙ 結果：機能は何も作動しません。

19 赤色非常停止ボタンを引いて回してオンの位置にします。

警報のテスト

20 ホーンボタンを押します。

⊙ 結果：ホーンが鳴ります。

機能作動スイッチのテスト

21 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにしないでください。

22 コントロール ハンドルを青い矢印の方向にゆっくりと動かしたあと、黄色い矢印の方向に動かします。

⊙ 結果：機能は何も作動しません。

機械機能と下降アラームのテスト

23 ジブブーム機能ボタンを押します。

⊙ 結果：機能ボタンの上にある表示ランプが点灯します。

24 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。

25 コントロール ハンドルを青い矢印の方向へ動かします。

⊙ 結果：ジブが上昇します。

26 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。

27 コントロール ハンドルを黄色い矢印の方向へ動かします。

⊙ 結果：ジブが下降し、下降アラームが鳴ります。

28 マスト機能およびターンテーブル回転機能ボタンを押します。

⊙ 結果：機能ボタンの上にある表示ランプが点灯します。

29 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。

30 コントロール ハンドルを青い矢印の方向へ動かします。

⊙ 結果：マストが上昇します。

31 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。

点検

32 コントロール ハンドルを黄色い矢印の方向へ動かします。

⊙ 結果:マストが下降します。マストが下降しているときには下降アラームが鳴ります。

33 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。

34 コントロールハンドルを左に動かします。

⊙ 結果:ターンテーブルは左に回転します。

35 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。

36 コントロールハンドルを右に動かします。

⊙ 結果:ターンテーブルは右に回転します。

ステアリングのテスト

37 走行機能ボタンを押します。

⊙ 結果:機能ボタンの上にある表示ランプが点灯します。

38 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。

39 コントロールハンドルの上部にあるロッカースイッチを、操作パネルの青い三角の示す方向に押します。

⊙ 結果:操舵輪が走行シャーシ上の青い三角が示す方向に回ります。

40 コントロール ハンドルの上部にあるロッカースイッチを、操作パネルの黄色の三角形の示す方向に押します。

⊙ 結果:操舵輪が走行シャーシ上の黄色い三角が示す方向に回ります。

走行とブレーキのテスト

41 走行機能ボタンを押します。

⊙ 結果:機能ボタンの上にある表示ランプが点灯します。

42 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。

43 コントロール ハンドルを操作パネルの青い矢印の方向に機械が動き始めるまでゆっくりと動かしたあと、コントロール ハンドルを中央位置まで戻します。

⊙ 結果:機械が走行シャーシの青色矢印の方向に動き、急停車します。

44 コントロール ハンドルを操作パネルの黄色い矢印の方向に機械が動き始めるまでゆっくりと動かしたあと、コントロール ハンドルを中央位置まで戻します。

⊙ 結果:機械が走行シャーシの黄色矢印の方向に動き、急停車します。

注記:ブレーキは、機械が登ることのできるすべての斜面上で機械を止める能力を持っている必要があります。

点検

走行機能システムのテスト

45 マスト機能およびターンテーブル回転機能ボタンを押します。

46 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。

47 ジブブームが非操舵輪の 1 つを越えるまで、ターンテーブルを回転させます。

⊙ 結果：走行作動表示ランプが点灯し、ジブブームが示された範囲にある間、点灯を続けます。



48 走行機能ボタンを押します。

49 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。

50 走行コントロール ハンドルを中心の位置から動かします。

⊙ 結果：走行機能は作動しません。

51 機能作動ボタンを押したままにし、走行機能ボタンを押します。

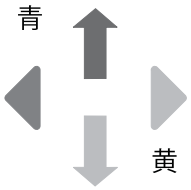
⊙ 結果：走行機能表示ランプが点灯します。

52 走行コントロールハンドルを中心の位置からゆっくりと動かします。

⊙ 結果：走行機能が作動します。

注記：走行機能システムを使用の際、走行および操舵コントロール ハンドルを動かした方向と反対の方向に機械が動く場合があります。

作業台操作および走行シャーシの色分けされた矢印で進む方向を確認してください。



走行制限速度のテスト

53 マスト機能およびターンテーブル回転機能ボタンを押します。

54 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。

55 マストを約 4 in / 10 cm 上昇します。

56 走行機能ボタンを押します。

57 コントロールハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。

58 走行コントロールハンドルを中心の位置から動かします。

⊙ 結果：マストが上昇した状態での最大達成走行速度は、秒速 1.5 ft / 18 cm を超えてはいけません。

59 マストを下降します。作業台のフロアが地上から約 1 m になるまで、ジブブームを上昇します。

60 走行コントロール ハンドルをゆっくりとフル走行の位置に動かします。

⊙ 結果：ジブブームが上昇した状態での最大達成走行速度は秒速 1.5 ft / 18 cm を超えてはいけません。

61 ジブブームを収納位置まで下ろします。

マストを上昇、またはジブブームを上昇した状態で走行速度が秒速 1.5 ft / 18 cm を超える場合、直ちに故障中の貼り紙をつけて機械の使用を中止してください。

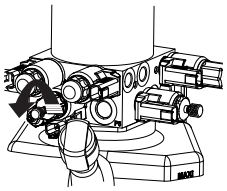
点検

非常機能のテスト

マストを下降する

62 地上操作パネルの反対側のターンテーブルカバーを開きます。

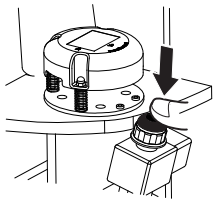
63 機能マニホールドのマスト機能弁を見つけます。



64 キャップを反時計回りに回して、弁を開けます。

65 地上操作側のターンテーブルカバーを開きます。

66 緊急下降ボタンを見つけます。



67 緊急下降ボタンを押したままの状態にします。

⊙ 結果:マストが下降します。

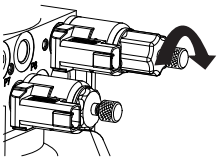
68 弁のキャップを時計回りに回し、マスト機能弁を閉じます。

ターンテーブルを回転する

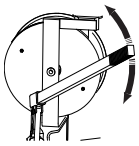
69 地上操作パネルの反対側のターンテーブルカバーを開きます。

70 手動で操作する機能のために使用する機能マニホールドにある弁を見つけます。

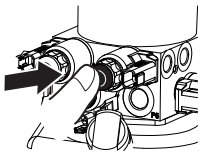
71 ターンテーブルを右回転するにはキャップを反時計回りに回します。ターンテーブルを左回転するにはキャップを時計回りに回します。



72 手動ハンドポンプハンドルをポンプに挿入します。



73 機能マニホールドにあるターンテーブル回転弁を見つけます。弁先端にある黒色ボタンを押し続けます。



74 黒色ボタンを押し続けている間、ハンドルを上下にポンプ作動します。

⊙ 結果:ターンテーブルが回転します。

75 機能マニホールドにある弁を完全に反時計回りに回し、弁の位置をリセットします。

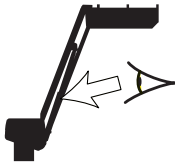
76 手動ハンドポンプハンドルをバッテリー前面のシャーシカバーの下に収納します。

点検

ジブブームを下降する

77 マストを下降するための緊急下降手順に従って、マストを下降します。

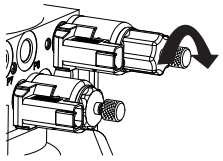
78 ジブブームにある弁を見つけます。



79 ジブブームの弁にあるキャップを反時計回りに回して、弁を開きます。

80 地上操作パネルの反対側のターンテーブルカバーを開きます。

81 手動で操作する機能のために使用する機能マニホールドにある弁を見つけます。



82 弁のキャップをゆっくりと時計回りに回します。

⊙ 結果：弁が可動範囲の中心の位置まで回されると、ジブブームは下降します。

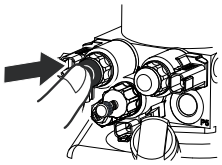
83 ジブブームが下降するとき、ジブブームの弁キャップを時計回りに回して弁を閉じます。

84 機能マニホールドで、手動機能弁のキャップを反時計回りに回すと、弁が閉じます。

操舵

85 地上操作パネルの反対側のターンテーブルカバーを開きます。

86 機能マニホールドにある操舵弁を見つけます。弁先端にある黒色ボタンを押し続けます。



87 手動ハンドルポンプハンドルをポンプに挿入し、ハンドルを上下にポンプ作動します。

⊙ 結果：タイヤが右に進みます。

88 手動で操作する機能のために使用する機能マニホールドにある弁を見つけます。

89 弁のキャップを反時計回りに回します。

90 機能マニホールドにある操舵弁を見つけます。弁先端にある黒色ボタンを押し続けます。

91 手動ハンドルポンプハンドルをポンプに挿入し、ハンドルを上下にポンプ作動します。

⊙ 結果：タイヤが左に進みます。

92 手動ハンドポンプハンドルをバッテリー前面のシャーシカバーの下に収納します。

点検



操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

次のセクションに進む前に、作業場の点検についてよく理解してください。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

作業場の点検の基本

作業場を点検することによって、オペレータは作業場が安全な機械操作に適しているかどうかを判断することができます。オペレータは、作業場に機械を移動する前に作業場の点検を行わなければなりません。

オペレータは作業場で起こりうる危険を心得た上で、機械の移動、セットアップ、運転の際に注意を払い、危険を回避してください。

作業場の点検

次の危険な状態に注意し、これらを回避してください:

- ❑ 急に低くなっているところ、くぼみ
- ❑ でこぼこした道、床の障害物もしくは破片
- ❑ 傾斜面
- ❑ 不安定な地面、滑りやすい地面
- ❑ 頭上の障害物、高圧送電線
- ❑ 危険な場所
- ❑ 機械の重量に耐えられない地面
- ❑ 風や天候の状態
- ❑ 関係作業員以外の人の存在
- ❑ その他、起こりうる危険な状態

点検

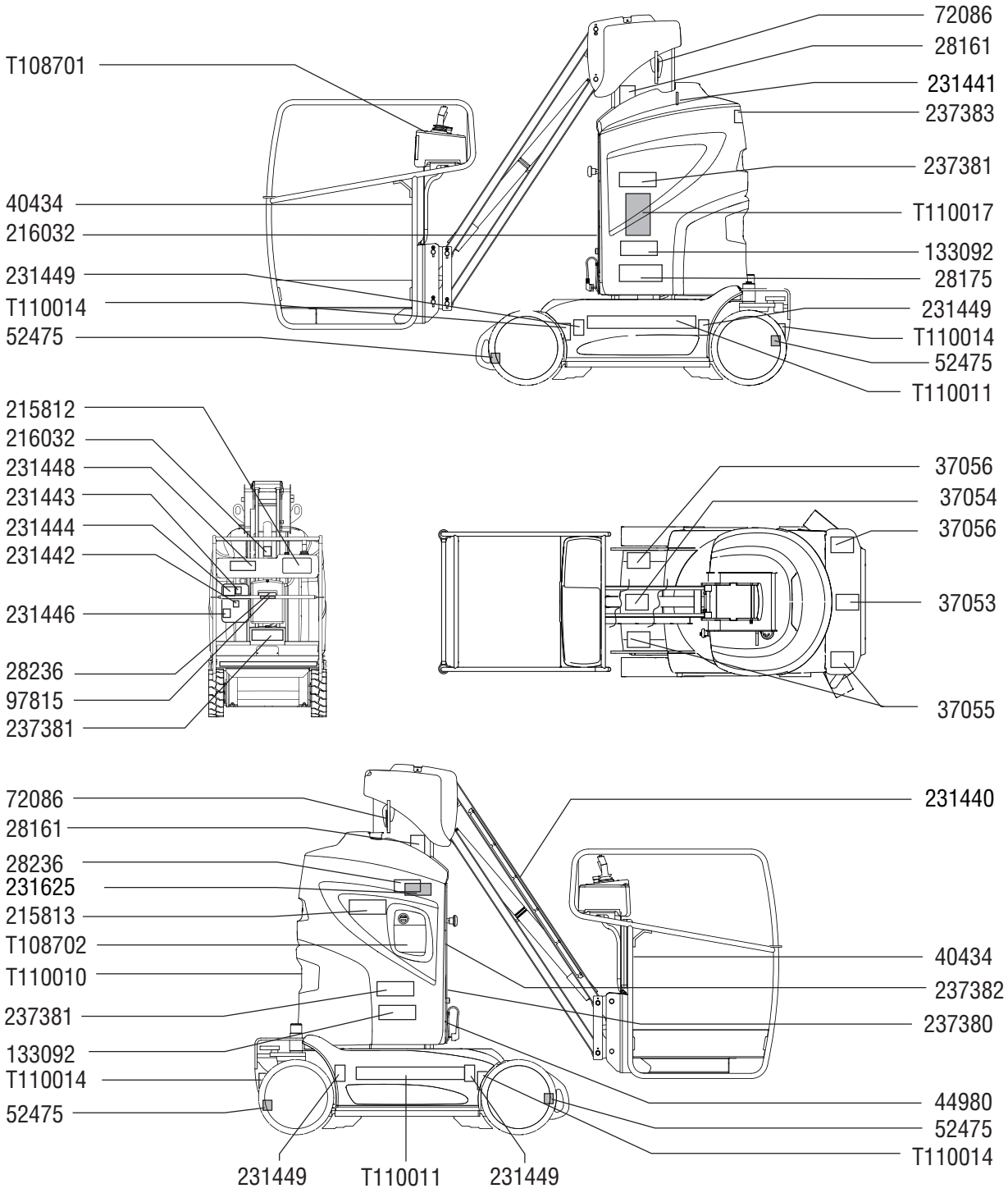
警告用語付きステッカーの点検

機械に貼られているステッカーの警告用語やシンボルを確認します。適切な点検方法で、ステッカーの文字がすべて読める状態で所定の位置に貼られていることを確認してください。

品番	ステッカーの説明	数量
28161	警告 ー 手のケガの危険	2
28175	警告 ー コンパートメントへのアクセス	1
28236	警告 ー 不適切な操作	2
37053	矢印 ー 青	1
37054	矢印 ー 黄	1
37055	三角 ー 青	2
37056	三角 ー 黄	2
40434	ラベル ー 安全帯固定箇所	1
44980	ラベル ー 充電器への電力、115V	1
52475	ラベル ー 輸送用の荷締め	4
72086	ラベル ー 吊り上げ点	2
97815	ラベル ー 中間レールを下げる	1
133092	危険 - 挟まる危険、安全輪止め使用	2
215812	危険 ー 転倒の危険	1
215813	指示 ー 操作指示	1
216032	ラベル ー 作業台への電力、115V	2
231440	警告 ー 足をのせたり乗ったりしない	1
231441	危険 ー 転倒の危険、バッテリー	1
231442	警告 ー 衝突の危険	1
231443	危険 ー 転倒の危険	
231444	警告 ー 傾斜面での危険	1
231446	警告 – 走行作動の危険	1
231448	危険 ー 転倒の危険	1
231449	ラベル ー タイヤ仕様	4
231625	警告/指示 ー ブレーキ解除	1
237380	警告 ー 感電の危険	1
237381	危険 ー 感電の危険	3
237382	警告 ー 衝突の危険	1
237383	危険 ー 感電/やけどの危険	1
T108701	作業台操作パネル	1
T108702	地上操作パネル	1
T110010	外装 ー Genie	1
T110011	外装 ー Genie GR-26J	2
T110014	ラベル ー 輪荷重	4
T110017	ラベル ー 緊急下降	1

■ 影の部分はステッカーが隠れていて見えないことを示しています (例:カバーの下など) 。

点検


T108701
40434
216032
231449
T110014
52475
72086
28161
231441
237383
237381
T110017
133092
28175
231449
T110014
52475
T110011
215812
216032
231448
231443
231444
231442
231446
28236
97815
237381
37056
37054
37056
37053
37055
72086
28161
28236
231625
215813
T108702
T110010
237381
133092
T110014
52475
231440
40434
237382
237380
44980
52475
T110014
231449
T110011
231449

点検

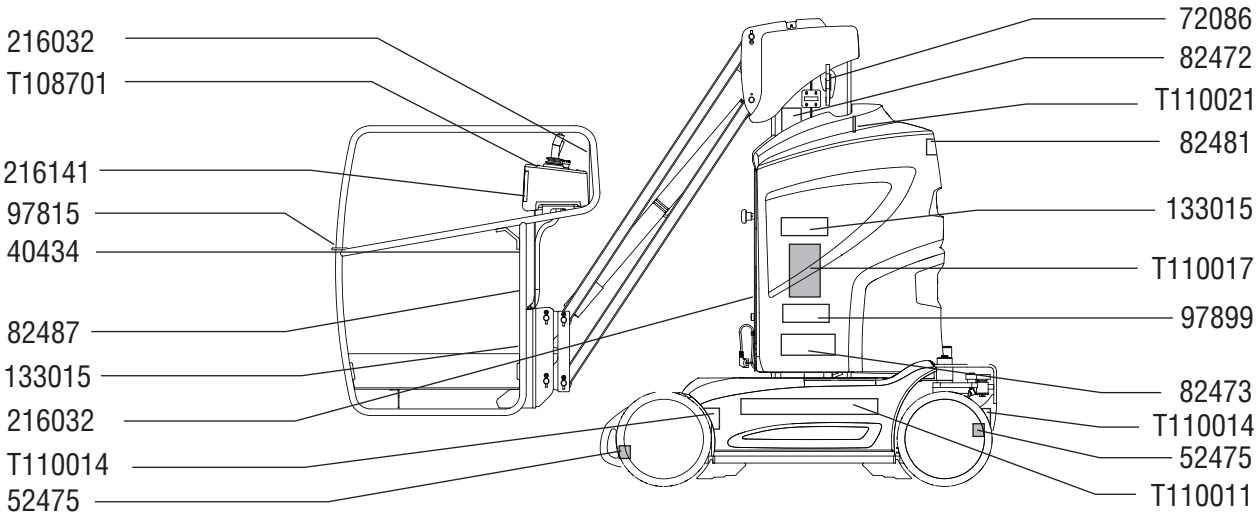
シンボル付きステッカーの点検

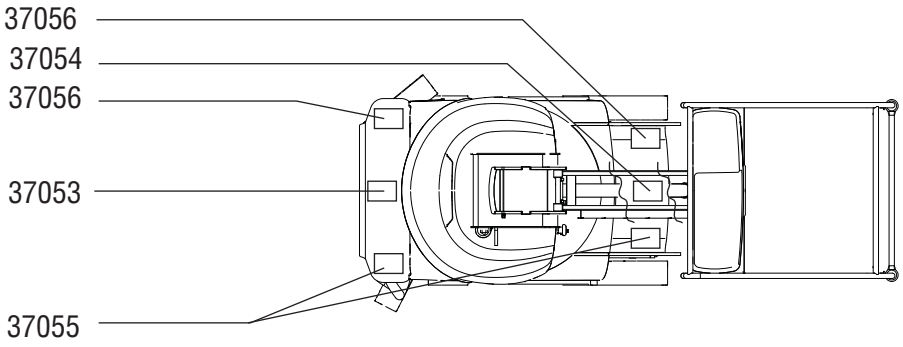
機械に貼られているステッカーの警告用語やシンボルを確認します。適切な点検方法で、ステッカーの文字がすべて読める状態で所定の位置に貼られていることを確認してください。

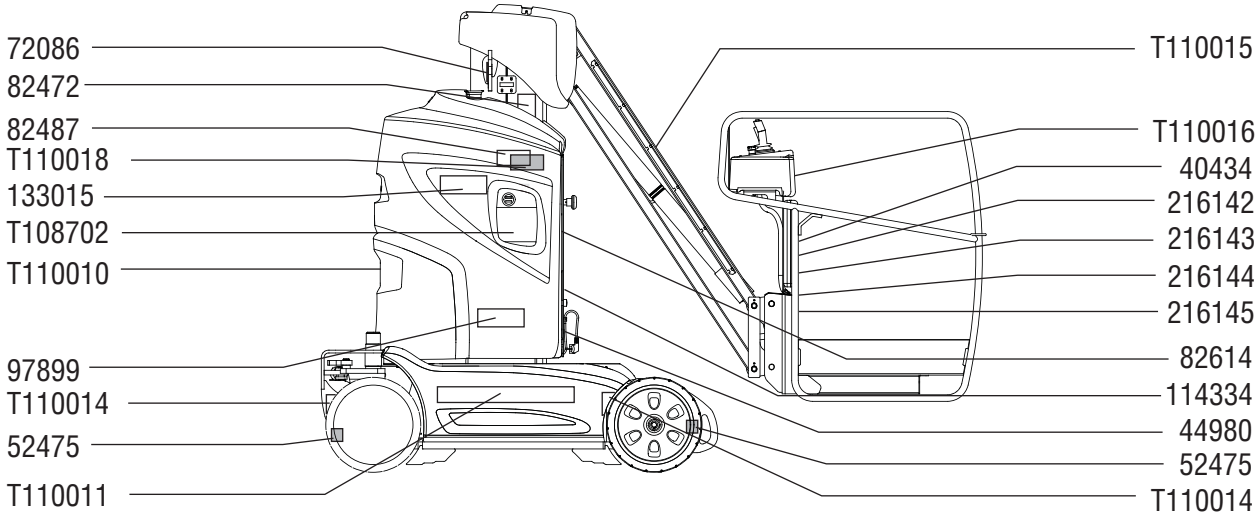
品番	ステッカーの説明	数量
37053	矢印 ー 青	1
37054	矢印 ー 黄	1
37055	三角 ー 青	2
37056	三角 ー 黄	2
40434	ラベル ー 安全帯固定箇所	1
44980	ラベル ー 充電器への電力、115V	1
52475	ラベル ー 輸送用の荷締め	4
72086	ラベル ー 吊り上げ点	2
82472	ラベル ー 挟まる危険	2
82473	ラベル ー コンパートメントへのアクセス	1
82481	ラベル ー バッテリー/充電器の安全	1
82487	ラベル ー マニュアルを読む	2
82614	警告 - 衝突の危険	1
97815	ラベル ー 中間レールを下げる	6
97899	ラベル - 安全輪止め使用	1
114334	ラベル ー 感電の危険、プラグ	1
133015	危険 - 感電の危険	1
216032	ラベル ー 作業台への電力、115V	2
216141	ラベル – 最大許容量、風圧	1
216142	ラベル ー 転倒の危険、傾斜面	1
216143	ラベル ー 機械の暴走する危険	1
216144	警告 ー 衝突の危険	1
216145	ラベル ー 走行方向の危険	1
T108701	作業台操作パネル	1
T108702	地上操作パネル	1
T110010	外装 ー Genie	1
T110011	外装 ー Genie GR-26J	2
T110014	ラベル ー 輪荷重	4
T110015	ラベル ー 落下の危険	1
T110016	ラベル ー 傾斜アラーム	1
T110017	ラベル ー 緊急下降	1
T110018	ラベル ー ブレーキ解除の安全 & 操作	1
T110021	ラベル ー 転倒の危険、バッテリー	1

■ 影の部分はステッカーが隠れていて見えないことを示しています (例:カバーの下など) 。

点検


216032
T108701
216141
97815
40434
82487
133015
216032
T110014
52475
72086
82472
T110021
82481
133015
T110017
97899
82473
T110014
52475
T110011


37056
37054
37056
37053
37055


72086
82472
82487
T110018
133015
T108702
T110010
97899
T110014
52475
T110011
T110015
T110016
40434
216142
216143
216144
216145
82614
114334
44980
52475
T110014

操作手順



操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

原則

操作手順のセクションでは、機械操作の手順を機能ごとに説明しています。安全規則やオペレータの安全および責務マニュアルの手順に従うことは、オペレータの任務です。

作業員を工具や機材と一緒に高所作業場まで上げる目的以外で、機械を使用することは危険です。

トレーニングを受け認定された担当者のみが、機械を操作することを許可されます。複数のオペレータが同じ勤務時間内で異なる時間帯に機械を使用する場合、すべてのオペレータが資格を有し、オペレータの安全および責任に関するマニュアルの安全規則と手順にすべて従わなければなりません。すなわち、オペレータが交替するたびに、次のオペレータが機械の操作前に、操作前点検、機能テスト、作業場点検を行う必要があります。

操作手順

非常停止

地上もしくは作業台操作パネルの赤色非常停止ボタンを押して OFF (オフ) にし、すべての機能を停止します。

赤色非常停止ボタンが押されている状態で作動する機能は修理する必要があります。

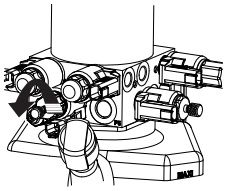
地上操作を選択して操作すると、地上操作が優先されるため、作業台の赤色非常停止ボタンは使用できません。

緊急下降

マストを下降する

1 地上操作パネルの反対側のターンテーブルカバーを開きます。

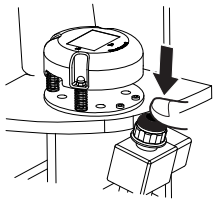
2 機能マニホールドのマスト機能弁を見つけます。



3 キャップを反時計回りに回して、弁を開けます。

4 地上操作側のターンテーブルカバーを開きます。

5 緊急下降ボタンを見つけます。



6 緊急下降ボタンを押したままの状態にします。

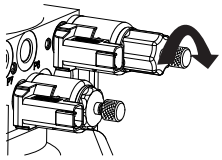
7 弁のキャップを時計回りに回し、マスト機能弁を閉じます。

ターンテーブルを回転する

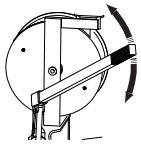
1 地上操作パネルの反対側のターンテーブルカバーを開きます。

2 手動で操作する機能のために使用する機能マニホールドにある弁を見つけます。

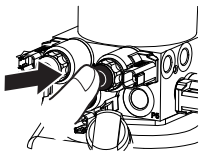
3 ターンテーブルを右回転するにはキャップを反時計回りに回します。ターンテーブルを左回転するにはキャップを時計回りに回します。



4 手動ハンドポンプハンドルをポンプに挿入します。



5 機能マニホールドにあるターンテーブル回転弁を見つけます。弁先端にある黒色ボタンを押し続けます。



6 黒色ボタンを押し続けている間、ハンドルを上下にポンプ作動します。

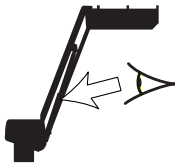
7 機能マニホールドにある弁を完全に反時計回りに回し、弁の位置をリセットします。

操作手順

ジブブームを下降する

1 マストを下降するための緊急下降手順に従って、マストを下降します。

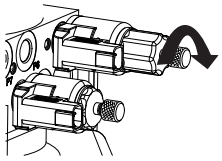
2 ジブブームにある弁を見つけます。



3 ジブブームの弁にあるキャップを反時計回りに回して、弁を開きます。

4 地上操作パネルの反対側のターンテーブルカバーを開きます。

5 手動で操作する機能のために使用する機能マニホールドにある弁を見つけます。



6 弁のキャップをゆっくりと時計回りに回します。

⊙ 結果：弁が可動範囲の中心の位置まで回されると、ジブブームは下降します。

7 ジブブームが下降するとき、ジブブームの弁キャップを時計回りに回して弁を閉じます。

8 機能マニホールドで、手動機能弁のキャップを反時計回りに回すと、弁が閉じます。

操舵

1 地上操作パネルの反対側のターンテーブルカバーを開きます。

2 機能マニホールドにある操舵弁を見つけます。弁先端にある黒色ボタンを押し続けます。

3 手動ハンドルポンプハンドルをポンプに挿入し、ハンドルを上下にポンプ作動します。

⊙ 結果：タイヤが右に進みます。

4 手動で操作する機能のために使用する機能マニホールドにある弁を見つけます。

5 弁のキャップを反時計回りに回します。

6 機能マニホールドにある操舵弁を見つけます。弁先端にある黒色ボタンを押し続けます。

7 手動ハンドルポンプハンドルをポンプに挿入し、ハンドルを上下にポンプ作動します。

⊙ 結果：タイヤが左に進みます。

8 手動ハンドポンプハンドルをバッテリー前面のシャーシカバーの下に収納します。

地上からの操作

1 キースイッチを回して地上操作に切り替えます。

2 赤色非常停止ボタンを引いてオンの位置にします。

作業台を配置する

1 適切な機能ボタンを押したままの状態にします。

2 適切な機能作動ボタンを押したままの状態にします。

走行とステアリング機能は地上操作から操作できません。

操作手順

作業台からの操作

1 キースイッチを回して作業台操作に切り替えます。

2 地上操作で赤色非常停止ボタンを引き出し、作業台操作で赤色非常停止ボタンを引いて回して解除します。

作業台を配置する

1 機能選択ボタンを押します。選択した機能の横にある表示ランプが点灯します。

機能を選択してから 5 秒以内にコントロールハンドルを動かさなかった場合には、その機能は作動しません。その機能をもう一度選択してください。

2 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。

3 操作パネル上に示された方向にコントロールハンドルを動かします。

操舵

1 走行機能選択ボタンを押します。走行機能の横にある表示ランプが点灯します。

機能を選択してから 5 秒以内にコントロールハンドルを動かさなかった場合には、その機能は作動しません。その機能をもう一度選択してください。

2 コントロールハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。

3 コントロールハンドルの先端にあるサムロッカースイッチを押します。

作業台操作と走行シャーシの色別された三角方向マークで、タイヤの向く方向を確認してください。

走行

1 走行機能選択ボタンを押します。走行機能の横にある表示ランプが点灯します。

機能を選択してから 5 秒以内にコントロールハンドルを動かさなかった場合には、その機能は作動しません。その機能をもう一度選択してください。

2 コントロールハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。

3 速度を上げるには、次の操作を行います。コントロール ハンドルを中心の位置からゆっくりと動かします。

速度を下げるには、次の操作を行います。コントロール ハンドルを中心の位置に向かってゆっくりと動かします。

停止するには、次の操作を行います。コントロール ハンドルを中心に戻すか、または、機能作動スイッチを離します。

作業台操作と走行シャーシの色別された三角方向マークで、タイヤの向く方向を確認してください。

マストまたはジブブームが上昇した状態では機械の走行スピードは制限されます。

操作手順

走行機能

ブームがいずれかの非操舵輪を越えて移動し、走行機能が妨げられると、ランプが点灯します。



走行作動ボタンを押して、走行機能を選択します。緑色の表示ランプが点灯します。

走行コントロールハンドルを中心の位置からゆっくりと動かして、走行します。

走行コントロール ハンドルおよび操舵コントロールハンドルの方向とは反対の方向に機械が動く場合があるので、注意してください。

必ず作業台操作と走行シャーシの色分け矢印で、機械の進む方向を確認してください。

機能を選択してから 5 秒以内にコントロールハンドルを動かさなかった場合には、その機能は作動しません。その機能をもう一度選択してください。

機械非水平表示器ランプ



機械が水平でない場合にランプが点滅します。このランプが点滅している間、傾斜アラームが鳴ります。機械を安定した水平な地面に移動してください。

操作手順

⚠ 傾斜面における走行

機械に対する縦傾斜および横傾斜の定格勾配を確認し、傾斜勾配を判断します。

最大定格勾配	25% (14°)
最大定格横勾配	15% (9°)

注記：定格勾配は、地面の状態と車輪と地面との摩擦により異なります。

作業台が下降した状態で、作業台が非操舵輪の間にあることを確認します。

傾斜勾配の確認：

デジタル傾斜計を使用するか、あるいは以下の手順で傾斜を測定します。

必要なものは以下のとおりです。

- 水準器
- 最低 3 ft/1 m の長さの真っ直ぐな木片
- 巻尺

傾斜面の上に木片を置きます。

谷側の端で、木片の上端に水準器を置いた後、木片が水平になるまでその端を持ち上げます。

木片を水平に保ちながら、木片の端の底部から地面までの距離を測ります。

巻尺で測った地面からの距離（高さ）を木片の長さ(水平距離) で割り、その数値に 100 を掛けます。

例：



木片の長さが 144 in (3.6 m) なら、

水平距離 = 144 in (3.6 m)

高さ = 12 in (0.3 m)

12 in ÷ 144 in = 0.083 x 100 = 8.3% 勾配
0.3 m ÷ 3.6 m = 0.083 x 100 = 8.3% 勾配

上り/下り傾斜や横傾斜が最大定格勾配を超える場合は、機械をウィンチで巻き揚げるか、もしくは傾斜面の上または下に運ぶ必要があります。「輸送およびリフト」のセクションを参照してください。

操作手順



バッテリーと充電器の操作手順

必ず以下に従うこと。

☑ 外部充電器またはブースターバッテリーを使用しないでください。

☑ よく換気された場所でバッテリーを充電してください。

☑ 充電器に表示されている適切な AC 入力電圧を使用してください。

☑ Genie 承認のバッテリーと充電器のみを使用してください。

☑ 低バッテリー表示が点灯している場合にバッテリーの充電を怠ると、バッテリーが破損することがあり、バッテリーパック全体の交換が必要になる場合があります。

バッテリーの充電

1 ターンテーブルのカバーを開けます。カバーは、充電の全サイクルが終了するまで開けておく必要があります。

2 ターンテーブルの赤色非常停止ボタンを押し込みます。

3 バッテリー通気孔のキャップを外し、バッテリー電解液の量を確認します。必要な場合は、蒸留水を各バッテリーセルのプレートから 0.4 in / 1 cm 上になるまで追加します。このときに入れすぎないようにしてください。

バッテリーの電解液の温度が 40° C 以上の場合は充電しないでください。バッテリーの充電を開始する前に、電解液を冷却させます。

4 バッテリー通気孔のキャップを洗浄し再び取り付けます。

5 接地されている AC 電源装置にバッテリー充電器を接続します。充電サイクルの開始後は、中断しないでください。70% ～ 80% 使用済みのバッテリーの充電時間は約 10 時間です。

6 バッテリーが完全に充電されると、充電器に表示が出ます。

7 充電サイクルの完了後、バッテリー通気孔のキャップを外し、バッテリー電解液の量を確認します。必要な場合は、蒸留水を各バッテリーセルのプレートから 0.4 in / 1 cm 上になるまで補充します。このときに入れすぎないようにしてください。

8 バッテリー通気孔のキャップを再び取り付けます。

9 AC 電源装置から充電器を外します。

10 バッテリーのカバーとラッチを閉めます。

11 赤色非常停止ボタンを引いてオンの位置にします。

操作手順

乾式バッテリーの液注入と充電の手順

1 ターンテーブルのカバーを開けます。カバーは、充電の全サイクルが終了するまで開けておく必要があります。

2 バッテリー通気孔のキャップを外し、バッテリー通気孔開口部のプラスチックシールを取り除きます。

3 それぞれのセルに、プレートが隠れる程度にバッテリー電解液を入れます。

バッテリー充電のサイクルが終了するまでは、満タンまで入れないでください。入れすぎると、充電中にバッテリー液があふれることがあります。バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。

4 バッテリー通気孔のキャップを取り付けます。

5 赤色非常停止ボタンを押し込みます。

6 接地されている AC 電源装置にバッテリー充電器を接続します。充電サイクルの開始後は、中断しないでください。

7 バッテリーが完全に充電されると、充電器に表示が出ます。

8 充電サイクルの完了後、バッテリー通気孔のキャップを外し、バッテリー電解液の量を確認します。蒸留水を各バッテリーセルのプレートから 1 cm 上になるまで補充します。このときに入れすぎないようにしてください。

輸送および持ち上げの手順

必ず以下に従うこと。

☑ Genie は、以下の装置の輸送および設置に関する情報を 1 つの提案として提示します。操縦者は、米国運輸省の規定、地域のその他の規定および自社の方針に従って、機械を正しく固定し、正しいトレーラーを選択することに関して、すべての責任を負っています。

☑ Genie の顧客が任意のリフトまたは Genie 製品をコンテナに収める必要がある場合には、建設用機器およびリフトを国際輸送用に準備、積載、固定する作業の専門知識を持つ、認定された運送会社に依頼してください。

☑ 機械のトラックからの積み下ろしは、認定を受けた高所リフト作業員のみが行ってください。

☑ 輸送車両は水平な地面に駐車してください。

☑ 機械を載せる際は、輸送車両を動かないように固定してください。

☑ 車両の積載荷重量、積載面、チェーンやストラップが機械の重量に十分に耐えうるものであることを確認してください。Genie リフトはそのサイズと比べるとかなりの重量があります。機械の重量についてはシリアルプレートをご覧ください。シリアルプレートの場所については、点検のセクションを参照してください。

☑ ブレーキを解除する場合は、必ず機械を水平な地面に止めてから、もしくは固定してから行ってください。

☑ 機械の定格勾配を超える上り傾斜、下り傾斜、および横傾斜では、機械を走行しないでください。操作手順の「傾斜面における走行」のセクションを参照してください。

☑ 輸送車両の荷台の傾斜が上り傾斜と下り傾斜の最大定格勾配を越える場合、機械の積み下ろしの際には「ブレーキ解除操作」の指示どおりにウィンチを使用する必要があります。定格勾配については、「仕様」のセクションを参照してください。

ブレーキ解除操作

1 機械が動かないよう輪止めをかましてください。

2 シャーシの荷締め箇所にウィンチラインがしっかりと固定され、軌道に障害物が無いことを確認します。

3 地上操作側のターンテーブルカバー下にあるブレーキ解除トグルスイッチを見つけます。



4 ブレーキ解除トグルスイッチを左に動かし、ブレーキを解除します。アラームが鳴ると、すべての機能は作動しません。

機械が積載された後に、以下を行います。

1 機械が動かないよう輪止めをかましてください。

2 ブレーキ解除トグルスイッチを右に動かし、ブレーキをリセットします。

注記：ブレーキをリセットすることを怠ると、バッテリー容量を使い切ってしまいます。そのためバッテリーが破損することがあり、バッテリーパック全体の交換が必要になる場合があります。

輸送および持ち上げの手順

輸送用トラックあるいはトレーラーへの固定

輸送の前にキースイッチをオフの位置に回し、キーを取り外してください。

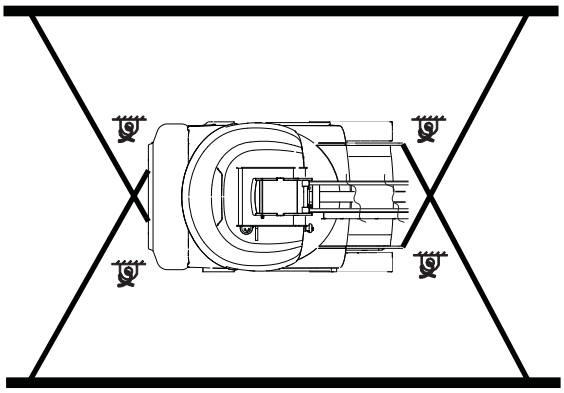
緩んでいたり、固定されていない箇所がないか、機械全体を点検します。

シャーシの固定

チェーンやストラップは、積載荷重量に十分耐えうるものを使用してください。

最低でも 4 組のチェーンまたはストラップを使用してください。

チェーンの損傷を防ぐため、装具を調節してください。



輸送および持ち上げの手順

必ず以下に従うこと。

☑ 機械の組み立ておよび持ち上げを行うときは、必ず認定されている整備工が行ってください。

☑ 機械をフォークリフトで持ち上げる際は、必ず認定を受けたフォークリフト オペレータが行ってください。

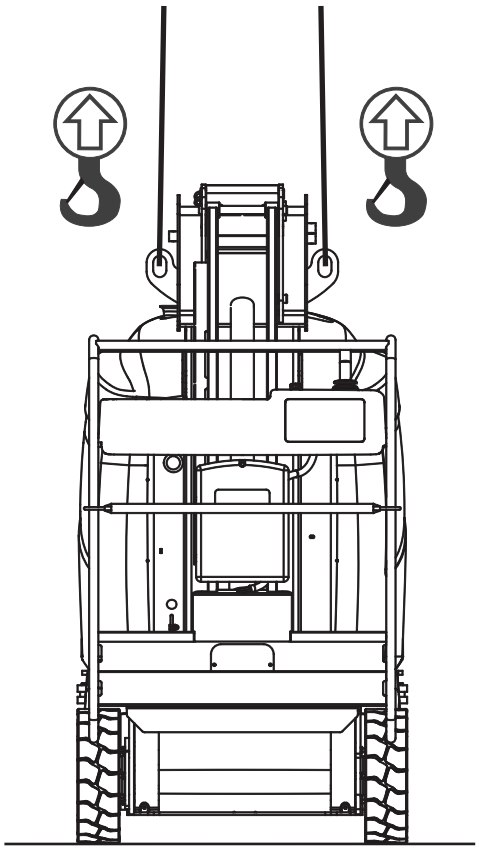
☑ クレーンの積載荷重量、積載面、ストラップやロープが、機械の重量に十分に耐えうることを確認してください。機械の重量についてはシリアルラベルをご覧ください。

リフトの手順

マストとジブブームを完全に下降します。機械の固定されていない部品はすべて取り外してください。

機械の指定の吊り上げ点にのみ装具を取り付けます。吊り上げ点は、マスト上部に 2 箇所あります。

機械が損傷しないよう、また、機械の水平状態を保てるよう、装具を調節してください。



メンテナンス



必ず以下に従うこと。

☑ オペレータは、本説明書に記載してある規定メンテナンス項目のみを行います。

☑ 定期保守点検は、認定されているサービス担当者が、製品仕様と責務マニュアルに記載している要項に基づいて行ってください。

☑ 法規に従って、適切に廃棄してください。

☑ Genie 承認の交換部品のみを使用してください。

保守記号の説明

以下の記号は、指示の目的をわかりやすくするために使用されています。メンテナンス手順の最初に記載されている記号は、次のような意味を表しています。

この手順を行うために、工具が必要です。

この手順を行うために、新たな部品が必要です。

この手順を行うには、モーターまたはポンプの熱が冷めている必要があります。

バッテリーの点検

バッテリーを適切な状態に保つことは、機械の性能を保ち、安全に操作するために重要です。不適切な液量、あるいはケーブルや接続の損傷は、部品の故障につながり、危険な状態を招くおそれがあります。

⚠ 感電の危険。熱くなっている回路や通電している回路に触れると、重傷を負ったり死に至ることがあります。指輪、時計などの装身具をすべて外してください。

⚠ 人体への傷害の危険。バッテリーには酸が入っています。バッテリーの酸をこぼしたり酸に触れたりしないようにしてください。バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。

注記: 低バッテリー表示が点灯している場合にバッテリーの充電を怠ると、バッテリーが破損することがあり、バッテリーパック全体の交換が必要になる場合があります。

1 保護服と保護メガネを着用してください。

2 バッテリーケーブルがしっかりと接続され、腐食していないことを確認します。

3 バッテリー固定ブラケットが適切な位置にしっかりと取り付けられているか確認します。

注記:端子プロテクターや腐食防止シーリング剤を使用することによって、バッテリー端子やケーブルの腐食を防止することができます。

メンテナンス

作動油量の点検

作動油量を適切なレベルにしておくことは、機械操作にとって非常に重要です。作動油量が適切でない場合、油圧部品が損傷することがあります。点検担当者は、毎日チェックすることにより、作動油量の変化に気付き、油圧システムでの問題を早期に発見することができます。

1 ブームが収納位置にあることを確認します。

2 油圧タンク側面にある表示計を目視点検します。必要に応じてオイルを補充してください。このときに入れすぎないようにしてください。

⊙ 結果：作動油量は、油圧タンク側面で FULL（満タン）マークを指している必要があります。

作動油の仕様	
作動油タイプ	Chevron Rando HD 相当物

定期保守点検

四半期ごと、1 年ごと、2 年ごとに行われる保守点検は、本装置のメンテナンストレーニングを受け認定されている担当者が、本装置のサービスマニュアルの手順に従って行わなければなりません。

3 ヶ月以上使用されていない機械は、再び使用する前に必ず四半期点検を行う必要があります。

仕様

モデル		GR-26J
高さ、操作時最大	31 ft 9 in	9.6 m
高さ、作業台最大	25 ft 9 in	7.8 m
高さ、収納時最大	78 in	1.99 m
水平最大到達距離	8 ft 3 in	2.51 m
幅	44.8 in	1.14 m
長さ、作業台収納時	109 in	2.76 m
最大積載荷重	500 lbs	227 kg
最大風速	28 mph	秒速 12.5 m
ホイールベース	47 in	1.2 m
旋回半径 (内側)	31 in	0.78 m
旋回半径 (外側)	92 in	2.3 m
ターンテーブル旋回		350°
ターンテーブルによる後方車体の揺れ	1 in	2.5 cm
電源	12 2V、280 AH バッテリー	
走行速度、収納時	2.8 mph	時速 4.5 km 12.2 m/9.7 秒
走行速度、ブーム上昇時	0.4 mph	時速 0.65 km 12.2 m/67 秒
振動値は 2.5 m/s^2 を超過しません。		
最低地上高	3.4 in	8.5 cm
重量	6250 lbs	2835 kg

(機械の重量は、オプション構成により異なります。機械の重量についてはシリアルプレートをご覧ください。)

機械による騒音	
地上作業場での音圧レベル	<70 dBA
作業台での音圧レベル	<70 dBA

作業台寸法(奥行き x 幅)		30 in x 35 in 75 cm x 90 cm
作業台水平維持		自動水平維持
ターンテーブル旋回		350°
操作パネル		24V DC 比例
作業台 AC コンセント		標準
油圧、最大(ブーム機能)	2030 psi	140 バール
システム電圧		24V
タイヤ サイズ、(非マーク)		16 in x 11 in 40.6 cm x 28 cm
最大勾配の定格値、収納状態		25%(14°)
最大定格横勾配、収納状態		15%(9°)

注記:定格勾配は、地面の状態と車輪と地面との摩擦により異なります。

床荷重表		
最大輪荷重	3126 lbs	1418 kg
車体占有面の平均圧力	390 psf	2,050 kg/m^2 20.1 kPa

注記:床荷重表は概算値であり、オプションによる構成の違いを考慮したものではありません。安全上の要素を考慮して使用してください。

Genie では製品の改良を重ねていくことを方針としています。このため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

代理店

www.genielift.com